

年齢や性別にとらわれない生き方

個性を尊重する社会を

久留米市は、昭和63年10月1日に久留米女性憲章を制定しました。以来、毎年10月1日から1週間を久留米女性週間と定め、男女共同参画社会について皆さんと考える「くもめフォーラム」を開催しています。申し込み不要、入場無料。

■日時10月6日(日)13時～15時

■講師作家・下重暁子さん

映画「マイ・インターン」

■日時10月5日(出)10時、13時、15時30分、19時。6日(日)10時、15時20分

■内容 ニューヨークの若き女性社長と70代のインターン男性との性別、年齢、地位を超えた信頼と友情を爽やかに描きます

■日時10月5日(出)、6日(日)9時30分～16時

■内容 市民グループによる手作り小物や軽食、農産物などの販売



【下重暁子さんプロフィール】

早稲田大学卒業後NHKに入局。アナウンサーとして活躍後、民放キャスターを経て文筆活動に入る。丹念な取材に基づくノンフィクション、家族や生き方をテーマにしたエッセイ、評論、小説まで幅広い作品がある。現在、日本ペンクラブ副会長、日本旅行作家協会会長を務める。



アン・ハサウェイとロバート・デ・ニーロが共演

展示

■日時10月1日(火)～10月6日(日)

■内容 男女共同参画や各団体の活動を紹介

会場はえるピア久留米。託児、手話通訳、要約筆記の申し込みは9月26日(木)までに問い合わせ先に連絡。駐車場は台数に限りがありますので、公共交通機関を利用してください。

くもめフォーラム実行委員会(男女平等推進センター内) ☎0942・30・7800、FAX 0942・30・7811

市ホームページ 男女平等推進センターへ 詳しくはQRコード



フォーラムを盛り上げる市民企画も目白押し

城島げんきかん

■9月28日(日)13時30分～
講演「男も介護する時代を迎えて」

北野生涯学習センター

■9月28日(日)14時～
講演「みんなの人権 そして女性の人権」

いずれも託児、手話通訳、要約筆記の申し込みは、9月19日(木)までに問い合わせ先に連絡。

えるピア久留米

■10月5日(出)10時～
映画「なぜ、沖縄の人々は声を上げ続けるのか～女性の人権を考える～「米軍が最も恐れた男、その名はカメジロー」」
講演「園児っ子のすこやかな発達を願って」
講演・対談「娘として、母との関係を考える」
13時～
講演「憲法を生かして「平和と平等」「個人の尊厳」

15時30分～
講演「私たちの未来に原発いりますか?～フクシマから学ぶ～」
18時30分～
講演・対談「LGBTQ×障がいやメンタルの悩みがある人って?～ダブルマイノリティの困りごと、できること～」

■10月6日(日)10時～
講演「安心して暮らすための充実した介護サービスの行方～要介護予備群からの提案～」
講演・ワークショップ「アフガニスタンの女性警察官とジェンダー、暴力について語り合おう」

■10月5日・6日10時～
ワークショップ「女性に対する暴力根絶の願いを込めてパープルリボンツリーを作ろう!」
いずれも託児、手話通訳、要約筆記の申し込みは、9月26日(木)までに問い合わせ先に連絡。

新生児聴覚検査の費用を助成

先天性難聴の影響を最小限に

難聴は1000人に1人

新生児聴覚検査は先天性難聴の早期発見、早期支援のために生後1カ月未満の赤ちゃんを対象に行うものです。

生まれつき聞こえに問題のある赤ちゃんは、1000人に1～2人いると言われています。発見が遅れると、幼児期になっても言葉を話せなかったり、コミュニケーションを取ったりすることが難しくなります。

聞こえにくさがあっても、早い段階で、補聴器を着けるといった支援をすることで、言葉の習得の遅れなどを最小限に抑えることができます。

検査方法は大きく2種類

久留米市は、10月から新生児聴覚検査を受けやすくするために、検査費用の一部助成を始めます。検査は、「AABR、ABR」か「OAE」のいずれかを産婦人科などで行います。AABRとABRは寝ている赤ちゃんにヘッドホンのような機器から音を聞かせて、反応した脳波の動きを調べる検査です。OAEは耳の中の反響音を

読み取り、異常がないかを調べます。反応がない場合は、耳鼻科での精密検査を受けてください。検査は痛みなどもなく、赤ちゃんに負担がありません。医療機関によって検査方法が変わるので、医師の指示に従って必ず受診しましょう。

普段の生活では発見が難しいため、検査を早めに受けましょう

10月生まれの子どもから

9月中旬から母子健康手帳と一緒に、新生児聴覚検査補助券を交付します。9月中旬までに母子健康手帳の交付を受けた人には郵送します。医療機関に補助券を提出すれば、その場で助成を受けられます。

■対象者 出生日が今年10月1日以降の新生児であり、保護者が久留米市に住民登録している人

■助成上限額 AABR・ABRは3000円、OAEは1500円。差額は自己負担。里帰り出産などで、市外の医療機関で受けた人には払い戻しの手続きが必要
◎くもめ子育てサポートセンター ☎0942・30・9731、FAX 0942・30・9718

市ホームページ くもめ子育てサポートセンター 詳しくはQRコード



環境交流プラザサポーターを募集

楽しみながらエコ活動を

得意分野を生かして

宮ノ陣クリーンセンター環境交流プラザは、多くの人に環境問題について関心を持ってもらい、日頃の生活から、エコを心掛けてもらえるように取り組んでいます。

プラザに欠かせない存在が、市民ボランティアによる環境交流プラザサポーターです。サポーターは、宮ノ陣クリーンセンターの工場見学案内、イベントや講座のサポートなど、幅広い活動をしています。中には、仕事や趣味などの経験を生かして、講座のテーマや内容を自分で企画し、子どもたちに分かりやすく教えている人もいます。

一緒に活動していくサポーターを募集します。サポーターになるための養成講座もあるのので、安心して活動できます。

■活動内容 イベントのスタッフや体験講座の講師、施設の案内や展示解説など

■対象者 来年4月1日時点で18歳以上の人

■申込方法 電話、ファクス、郵送、メール、窓口で連絡

■申込締切 12月27日(金)

◎施設課 ☎0942・27・5371、FAX 0942・27・5443、✉myclean@city.kurume.fukuoka.jp

市ホームページ 宮ノ陣クリーンセンター 詳しくはQRコード



サポーターによる講座。小学生が新聞紙で動物を作りました